

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・
支援委員会平成27年度第1回会議

日時 2015年4月22日（水）
（平成27年）

午後4時

場所 湘南NDビル6階6-1会議室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 平成26年度第3回誘致・支援委員会会議の開催結果について（資料1）
- (2) これまでの取組状況について（資料2～4）
- (3) 当面の取組みについて（資料5）
- (4) その他

3 閉会

事務局 藤沢市企画政策部企画政策課
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
電 話 (0466) 50-3502
ファクス (0466) 50-8400
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック
藤沢市誘致・支援委員会 委員名簿

2015年（平成27年）4月20日現在

（敬称略）

役職名	氏名	団体名	役職	種別
副委員長	田中 正明	藤沢商工会議所	会頭	経済団体
副委員長	二見 幸雄	公益社団法人藤沢市観光協会	会長	観光団体
	齋藤 光久	公益社団法人藤沢市商店会連合会	理事長	経済団体
	田中 正明	公益財団法人湘南産業振興財団	理事長	経済団体
	安藤 信介	一般社団法人藤沢青年会議所	理事長	経済団体
	大縫 光宏	藤沢市体育協会	会長	スポーツ団体
	小野 晴弘	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	理事長	スポーツ団体
	武内 鉄夫	公益社団法人藤沢市医師会	会長	医療関係団体
	鈴木 聡行	公益社団法人藤沢市歯科医師会	会長	医療関係団体
	後藤 知良	一般社団法人藤沢市薬剤師会	会長	医療関係団体
	加藤 正美	社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会	会長	福祉団体
	安 咸子	特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会	理事長	市民活動団体
	河添 健	慶應義塾大学総合政策学部	学部長	市内大学
	河野 英一	日本大学生物資源科学部	学部長	市内大学
	松本 信雄	湘南工科大学	学長	市内大学
	安田 震一	多摩大学グローバルスタディーズ学部	学部長	市内大学
委員長	鈴木 恒夫	藤沢市	市長	行政

未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック誘致・支援委員会平成26年度第3回会議議事概要

- 1 日時 2014年（平成26年）8月5日（火）午前9時～10時26分
- 2 場所 藤沢市総合防災センター4階災害対策本部室
- 3 議題

開会に当たり、鈴木委員長から、夏休みに入り、市内でもインターハイが開催されていること、本大会の競技会場について新聞報道が賑やかになっている中ではあるが、しっかりと状況を捉えて対応していくことが挨拶とともに伝えられた。

(1) 第2回誘致・支援委員会会議の開催結果について

事務局から、第2回会議について、5月15日に開催され、規約、正副委員長選出、過去の誘致事例報告、現在の誘致の取組としての施設調査、誘致・支援方針の策定、発足式・記念フォーラムの開催等の議事結果について説明した。修正等については、8月末までに事務局あてに連絡する旨、委員長から指示があった。

(2) 誘致・支援委員会発足式・記念フォーラムの開催結果について

事務局から、6月10日に開催された誘致・支援委員会発足式、記念フォーラムの当日参加者、開催内容等について説明した。

(3) 誘致・支援方針（素案）について

誘致・支援方針の策定に当たっての目的、厚生、スケジュール等について確認し、素案について報告した。次回会議の議題とするため、議事概要と同様に8月末までに意見聴取する旨、事務局から依頼した。

(4) 県等への要望活動について

事務局から、現時点での市としての要望活動の状況について説明するとともに、セーリングについては本会場、ビーチバレーボールについては事前キャンプを誘致するという方向性について確認した。

（質疑等）

○ 他市町の対応はどのような状況か。

- 具体的な誘致に関する要望はなかったが、観光振興等で共通する話題はあった。葉山町からは別に連携に関する調整が必要と考えている。

- 千葉では、神奈川県は前に開催したのだからもういいじゃないかという考えのようであると聞いている。

(5) 種目別協会等との協議について

事務局から、種目別協会等との協議内容について説明した。市ヨット協会については、セーリングの大会会場に関する新聞報道があったため、協議内容を変更し、本大会誘致について現施設で問題がないか確認をした。艇庫（保管庫）については、今後県と調整すること、観客席については防波堤を活用した確保が可能であること、ミーティングルーム、漁業補償、海面調整については今後の課題なることが挙げられた。2月には大会会場についてI O Cに提出するため、秋には会場が決まってくるが、選手にしてみれば東京周辺では江の島が一番良い環境であり、舩添知事は、新聞報道の時点では、ヨット協会とは事前協議していないことが協会から聴取できた。

また、市バレーボール協会については、県内他市でも誘致の動きがあり、面的にも事前キャンプの誘致が適切であるとの回答を得た。キャンプ以降の活用、全国大会等の誘致を考慮すると、常設コート3面の設置が望ましいこと、場所は公園内が望ましく、他の諸設備も必要であることが挙げられた。

(質疑)

- ビーチバレーボールについては、要望のコートで事前キャンプは呼べるということで良いか。

- ▶ 白砂を使うことや、大会会場と同一の砂を入れることで、事前キャンプには十分な施設と聞いている。

(6) 展示会の開催及び第2回記念フォーラムについて

事務局から、文書館での展示の開催として、藤沢に誘致した際の資料が展示されること、文書以外にも旗やランニングシャツやタバコの箱も展示することを説明した。また、第2回のフォーラム開催については、セーリングをテーマとして、今後の誘致の状況を見ながら、日程、対象等について市ヨット協会と協議しながら検討することを説明した。場所に関しては、ヨットハウスは交通が不便なので市民会館小ホールを予定していることを説明した。

(質疑)

- 折角やるのなら、土日祝日や夜間の開館も検討していただきたい。

- 文書館自体が分かりにくい場所でもあるので、次年度以降は別の企画で多くの人にみてもらえるよう、企画していきたい。
- 湘南港でもオリンピックの展示をしたら良い。
 - 県施設で指定管理でもあるので、検討、調整させていただきたい。
- 提供いただける資料等があればご連絡いただきたい。
 - 1964年大会由来の品を公募しようかと考えているが、本大会会場の決定のタイミングもあるので、頃合いを見て実施したい。

(7) 国県の動向等について

県の誘致委員会の設置について報告した。従前は「オール神奈川」での対応を目指していたが、県市町村のみの構成となり、7月30日に設置された。

また、国の動向として、「ホストシティ・タウン構想」について説明した。長野冬季五輪の際の「一校一国運動」の自治体版であり、リオデジャネイロ大会の際に国として参加国にPRする予定となっている。姉妹都市への発展等を期待した国際交流が目的となっている。


(8) その他

事務局から、セーリングの本大会日程は、海水浴シーズンとなることに留意する必要があること、議事録及び方針案についての意見についてもご連絡いただきたいこと、次回会議は10月上旬を予定していることを依頼し、説明した。

(意見等)

- 本大会の誘致ともなれば、透析、特定疾患の観戦者が予想される。これまでの大会等ではそのような疾患の医療サポートはあまりなかったと思うが、今後の超高齢化を見据えた中でも必要となってくるものと考えられる。ヨーロッパ等の先進事例を調査していただきたい。藤沢市が福祉先進的都市という点のアピールにもつながると考える。
- ボランティア育成も大事になってくると思う。ボランティアも単なるサポートではなく、医療、介護等の知識も必要となってくる。また、歴史知識、外国語等の習得も必要となってくるので、学校教育も含め、市民講座等が必要となってくると考える。
 - マルチパートナーシップに基づいて、様々な団体等と同じ方向性を持って、役割分担をしながら進めていきたい。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（第32回オリンピック競技大会・第16回パラリンピック競技大会）の藤沢市での誘致・支援の歩み

年月日	内 容	備考
2013年 (平成25年)		
9月 8日	2020年夏季五輪の開催都市を決める国際オリンピック委員会（IOC）総会がブエノスアイレスで開かれ、IOC委員の投票で7日（日本時間8日）、東京が選ばれる。 	新聞
12月 3日	神奈川県で「五輪のための神奈川ビジョン2020推進本部」が設置される。	県
12月 4日	神奈川県議会本会議において、事前キャンプの誘致に関する質問があり、黒岩知事が「県内市町村と連携し、地域一体となって取り組む」旨を答弁する。	県
12月16日	神奈川県から、事前キャンプ等の誘致希望に関する調査依頼を收受する。	市会
12月16日	市議会本会議一般質問において、東京オリンピック・パラリンピックに向けての本市の招致活動についての質問があり、鈴木市長から「スポーツだけではなく産業、観光、国際交流、加えまして健康づくりやバリアフリーのまちづくり、人権、平和、教育などの場面でオリンピックを意識した取組を積極的に進めていく必要がある」旨を答弁する。また、企画政策部長から「練習会場等としての市内の利用も含めまして、本市としてもオリンピック・パラリンピックに何らかの形で関与したい」旨を答弁する。	
2014年 (平成26年)		
1月23日	平成25年度第1回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、会議の目的、役	市

年月日	内 容	備考
2月 6日	割、今後の取組等について審議する。 平成25年度第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、市民協働による誘致・支援組織について審議する。	市
2月 7日	市及び市内経済、スポーツ、ボランティア団体等14団体でオリンピック・パラリンピックの本市での誘致・支援についての取組に関する懇談会を開催する。	市
2月10日	庁内組織の設置、市民協働による誘致・支援委員会の設置について記者会見で報告する。	市
3月25日	2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致第1回県・市町村担当者会議が開催され、今後の取組の方向性について審議する。	県
4月10日	平成26年度第1回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、県内動向を報告するとともに、市民協働組織の発足について審議する。	市
4月17日	市民協働組織として、未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会平成26年度第1回会議を開催し、市及び市内団体の計17団体で構成する委員会を設置する。	市
4月18日	未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会の設置について、市で記者会見を行う。	市
4月25日	総務省で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等総務省準備本部(第1回)が開催される。	国
5月 8日	平成26年度第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、誘致・支援委員会結果の共有、県の動向等について審議する。	市
5月 8日	市、市ヨット協会(県連盟)、ヨットクラブ、江の島振興連絡協議会による意見交換会を開催する。	市
5月15日	未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会平成26年度第2回会議を開催	市

年月日	内 容	備考
	し、県内動向、誘致事例等について審議する。	
5月22日	市バレーボール協会との意見交換会を開催する。	市
5月25日	広報ふじさわ1面にオリンピック・パラリンピック誘致・支援関係の記事を掲載する。	市
5月27日	日本ビーチバレーボール協会、市バレーボール協会との意見交換会を開催する。	市
6月5日	市広報番組「ハミングふじさわ」でオリンピック・パラリンピックに関する誘致・支援に関する市長インタビューを放送する。	市
6月10日	未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会発足式・記念フォーラムを開催する。ビーチバレーボール国内4選手を招いてのトークセッションを開催する。	市
		
6月23日	市議会一般質問において、誘致に向けた動向、基盤整備等について質問があり、基盤整備の要望を行うことや市民協働により誘致を進めること等を答弁する。	市
7月10日	平成26年度第3回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、動向、活動内容、今後の進め方等について審議する。	市
7月17日	民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。	市
7月18日	国で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会におけるホストシティ・タウン構想に関する関係府省庁連	国

年月日	内 容	備考
	<p>絡会議（第1回）が開催され、ホストシティ・タウン構想について審議される。</p>	
7月23日	<p>市内選出県議会議員に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。</p>	市
7月25日	<p>県黒川副知事に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。</p>	市
7月28日	<p>公明党神奈川県本部、公明党神奈川県議団に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。</p>	市
	<p>市ヨット協会との意見交換会を開催する。</p>	市
7月30日	<p>湘南地域首長懇談会（県主催）において、鈴木市長が大会本会場を含めた江の島へのセーリング競技の誘致について知事に要望し、会場の誘致、財政負担の了解、選手村の分村等に関する県の意欲を表明した。（翌日新聞記事に掲載される。）</p>	市
	<p>市バレーボール協会と誘致に関する意見交換会を開催する。</p>	市
	<p>県と県内市町村で構成する「神奈川県2020事前キャンプ誘致等委員会」が設置される。</p>	県
7月31日	<p>7月30日に舛添都知事がセーリング会場ほか1会場についての見直しに言及したことが報道される。</p>	新聞
8月5日	<p>自由民主党神奈川県支部連合会、自由民主党神奈川県議会議員団に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。</p>	市
	<p>未来(あした)をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会平成26年度第3回会議を開催し、誘致等の状況等について審議する。</p>	市
8月7日	<p>平成26年度第4回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催し、誘致等の状況について審議する。</p>	市
8月14日	<p>黒岩県知事に対し、誘致・支援に係る施設整備等の要望を行う。</p>	市

年月日	内 容	備考
8月22日	神奈川県が「オリンピック・パラリンピックのための神奈川県ビジョン2020」を策定する。	県
9月 3日	市ヨット協会との誘致に関する意見交換会を開催する。県に対し、市内の選手村として可能性がある場所について提案する。	市
9月24日	県が知事調整において、江の島を中心とした競技大会の誘致についての方向性を示す。	市
10月14日	藤沢市文書館開館40周年記念事業として、収蔵資料展「東京オリンピックとふじさわ」を開催する（～11月28日）。	市
10月20日	県に対し、江の島を競技会場とする場合の諸元、女性センターを活用したレイアウト等について提案する。	市
10月22日	葉山町（町長、教育部長、総務部長）と藤沢市長が面談し、会場決定後の協力について合意する。	県
10月30日	県政策局が来藤し、県として「江の島セーリング競技開催プランについて」を東京都に提出し、11月5日に記者会見を行う旨が報告される。今後の関係団体との調整についての協力依頼を受ける。	県
10月31日	ホストシティ・タウン構想に関する参加意向を国に提出する。	市
11月 4日	市バレーボール協会との誘致に関する意見交換会を開催する。	市
11月11日	県において、事前キャンプ誘致用パンフレットを作成し、配布を開始する。	県・市
12月 5日	県藤沢土木事務所汐見台庁舎において、湘南海岸公園での事前キャンプ等の使用に関する意見交換を行う。	県・市
12月 9日	大使館等の訪問活動を開始する。（別紙）	
2015年 （平成27年）		
1月15日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から、事前トレーニング候補地ガイド掲載応募	国

年月日	内 容	備考
2月21日	<p>要領が発表される。</p> <p>「スポーツ人の集い」が開催され、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて」と題し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会河野一郎副会長の講演会を開催する。</p>	市
4月 9日	<p>平成27年度第1回2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議を開催する。</p>	市

国内競技連盟(NF), 各国大使館 訪問一覧			
行先	訪問日	神奈川県	藤沢市同行
日本レスリング協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本卓球協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本テニス協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本ハンドボール協会	2014年12月09日(火)	✓	
全日本アーチェリー連盟	2014年12月09日(火)	✓	
日本体育協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本体操協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本アマチュアボクシング連盟	2014年12月09日(火)	✓	
日本フェンシング協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本カヌー連盟	2014年12月09日(火)	✓	
日本ウェイトリフティング協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本ボート協会	2014年12月09日(火)	✓	
日本陸上競技連盟	2014年12月09日(火)	✓	
イタリア大使館	2014年12月10日(水)	✓	
カナダ大使館	2014年12月10日(水)	✓	
ノルウェー大使館	2014年12月11日(木)	✓	✓
ブラジル大使館	2014年12月12日(金)	✓	✓
日本バレーボール協会	2014年12月12日(金)	✓	✓
フランス大使館	2015年01月19日(月)	✓	✓
オランダ大使館	2015年01月20日(火)	✓	✓
オランダ関係者視察 (江ノ島ヨットハーバー。秋葉台公園)	2015年02月18日(水)	✓	✓
マレーシア大使館	2015年01月21日(水)	✓	✓
スイス大使館	2015年01月26日(月)	✓	✓

最近のメディア報道等（抜粋）

1 セーリング競技，都内開催は困難 空撮ヘリ飛ばず 代替地検討へ

東京都は10日、2020年東京五輪のセーリング会場に予定していた若洲海浜公園ヨット訓練所（江東区若洲）が、空港羽田空港に近く空撮に支障が出るとして、都内での開催が困難になったことを明らかにした。全国のマリーナを対象に代替施設の検討を急ぐ。都議会の特別委員会で説明した。代替地選定は白紙からのスタートとなるが、国際レースが可能で宿泊施設などが整う稲毛（千葉市）▽江の島（神奈川県藤沢市）▽愛知県蒲郡市などが有力候補になるとみられる。

都は国際オリンピック委員会（IOC）理事会が開かれる6月上旬までに会場を決める考え。都によると、若洲の訓練所は羽田空港から半径9キロの航空管制圏内に位置し、中継用のヘリコプターの飛行の制限がされる。このため、国際映像を供給する五輪放送サービス（OBS）が変更を要望していた。

都は国土交通省などと協議を重ねてきたが、複数設定したレース海域がいずれも管制圏内か離着陸ルートと一部重なることが判明。「空撮問題の解決なしに、都内で開催することは難しい」と判断し、代替地の検討を決めた。一方、現計画は破棄せず、OBSとの調整も続ける方針。（2015年（平成27年）4月10日、産経ニュース）

2 五輪セーリング会場変更？ 藤沢市，江の島へ「準備進める」

東京都は10日、2020年五輪で計画している江東区のセーリング会場について、周辺での空撮に制約があることから、代替の既存施設への変更を検討する方針を明らかにした。都議会の特別委員会で説明した。

都幹部は特別委で「競技海域での空撮が航空管制上の制約を受けるなど課題が残る。（開催は）非常に厳しい」と述べた。都は、6月に予定される国際オリンピック委員会（IOC）理事会までに、会場を決める考え。

関係者によると、代替候補地には稲毛（千葉市）、江の島（藤沢市）、愛知県蒲郡市が挙がっている。

セーリング会場について、都は当初の新設計画を見直し、近隣の「若洲海浜公園ヨット訓練所」を改修する予定にしていた。しかし、羽田空港に近く、テレビ

中継などをする空撮のヘリコプターが飛行を制限される空域に入ってしまうとの問題が残っていた。

特別委では、同様の課題を抱えるトライアスロン会場の「お台場海浜公園」(港区)について、都幹部が「海面と道路を利用する競技でさまざまな撮影方法が考えられる」として、セーリングとは状況が異なるとの認識を示した。

江の島への誘致を期待する藤沢市の鈴木恒夫市長は「江の島開催となれば、既存施設活用のモデルになる。チャンスがあれば、ぜひ世界文化遺産である富士山を望む相模湾でお願いしたい」とコメントした。市企画政策課は「会場はあくまで都側が決めること」としつつ、「リクエストがあった際に迅速に対応できるよう、県と連携して準備は進めていきたい」と話している。(2015年(平成27年)4月11日、神奈川新聞)